

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	02	01	06	124270	花巻・遠野広域連携事業費		
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営		
	施策	02	機能的な組織運営と人材育成				
目的	広域観光のネットワーク拡充等により花巻・遠野間の広域連携を推進する。						
対象	花巻市・遠野市						
意図	2市の強みを生かして効率的・効果的に事業を実施している						
事業概要	花巻・遠野観光ブランディング事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止 花巻・遠野・平泉の魅力ある観光資源を活用した旅行商品の造成と観光情報の発信 観光施設周辺整備事業 10,550千円 両市の観光施設周辺の松くい虫被害木の処理と資源化の拡大推進 児童・生徒運動能力育成支援事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止 ICTを活用した運動能力測定とスポーツ選手の講演会の実施 イベント・観光施設周遊事業 新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止 両市のイベントや公共施設周遊を組み合わせたスタンプラリーの開催						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	旅行商品造成数		本	計画	3.00	3.00	
				実績	12.00	0.00	
2	支障木伐採量		m3	計画	250.00	250.00	
				実績	155.12	209.52	
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	H31	R02	R03
1	広域観光客（花巻・遠野・平泉）入込数（暦年）		万人	目標	587.70	586.20	
				実績	576.60	285.22	
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
遠野市との広域連携により、交流人口の拡大を図ることを一つの目標として、成果指標として広域観光客入込数とするもの。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	遠野市との連携を模索する事業のため行政主導で行う必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	遠野市と様々な事業について連携を推進することで、相乗効果を得ることができる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	遠野市と連携して各事業に取り組むことで、効率的に実施することが可能となった。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	両市で応分の負担割合となっている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	遠野市と連携し、4つの事業を効率的・効果的に実施することによる相乗効果で広域観光客入込数を増加を目標としてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの事業が中止となり、目標は達成できなかった。
	次年度に向けて	令和2年度から地域経営推進費の市町村事業の広域連携枠の新たな3年間でスタートしている。現時点では、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況であるが、感染症状況を注視しつつ、遠野市と連携し、効果的・効率的な事業展開のための企画立案を行う必要がある。

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	06	124280	総合企画アドバイザー活用・連携事業費	
総合計画	分野	05	行政経営	政策	01 効率的・効果的な行政運営	
	施策	02	機能的な組織運営と人材育成			
目的	施策に対するアドバイス及びコーディネート					
対象	庁内、市内企業など					
意図	課題解決や活性化が図られる					
事業概要	総合企画アドバイザー業務 394千円 主な業務 ・地方創生 ・農林産物の販路開拓、拡大（6次産業化、農商工連携関連を含む） ・市内企業への企業訪問を通じた企業活性化 ・観光PR ・企業誘致にかかる情報収集（必要に応じて企業訪問）					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	総合企画アドバイザーの来市	回	計画	5.00	6.00	
			実績	4.00	2.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	課題解決の件数	件	目標	2.00	2.00	
			実績	1.00	2.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症の影響により2回のみ来市となったものの、市の課題解決や活性化につながる効果的なアドバイスをいただいた。その結果、市内企業と県外企業とのオンラインによる企業間マッチングの開催を通じ、企業間連携や商取引につなげる機会を創出したほか、市内企業の商品を本務（金融機関）の預金キャンペーンの景品に採用いただくなど、市内企業の競争力強化やPRにつながった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市政の課題解決や活性化の一助として、外部の視点を取り入れることを企図しているが、その具現化に向けて、市が主体的且つ協働して取り組む必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	庁舎内や市内企業、団体への認知度の向上が不可欠である。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費での実施であるため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	取り組む内容が限定されていないことから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	コロナ禍により事業展開に制約が生じたものの、オンラインによる企業間マッチングの開催や本務（金融機関）の預金キャンペーンを通じ、市内企業の競争力強化やPRにつながった。
	次年度に向けて	2件の課題解決を達成目標に設定し、花巻市産食材のPRと販促を行っていただくとともに、主に東海圏の企業情報の情報を随時提供いただき、本市への企業誘致につなげる。